

事業名 阿蘇ボランティア入門塾

[主催]	国立阿蘇青少年交流の家
[後援]	熊本県教育委員会
[期日]	第1回 令和4年5月21日(土)～5月22日(日)【1泊2日】 第2回 令和4年6月18日(土)～6月19日(日)【1泊2日】
[活動場所]	国立阿蘇青少年交流の家
[参加者]	第1回 大学生14名 高校生 9名 第2回 大学生11名 高校生11名 社会人1名
[講師]	高見 大介 氏(日本文理大学) 薄井 良文 氏(WakuWakuOFFICE あそ Be) 尾中 純一 氏(阿蘇青少年交流の家)
[担当職員]	阿蘇青少年交流の家2名 法人ボランティア5名

1 趣旨

- ・ボランティア養成研修をとおして、青少年教育施設におけるボランティア活動の基礎を培い、ボランティアとしての態度や能力を育成する。
- ・施設職員や先輩ボランティアとの交流を通じて、青少年教育施設におけるボランティア活動の魅力に触れ、法人ボランティアとしての登録と活動への意欲を促す。
- ・熊本県内の県立社会教育施設と連携し、ボランティア活動の選択の幅を広げる。

2 目標

- (1) ボランティア入門塾の受講者全員がボランティア登録を行い、今後行われる実際の教育事業等において、登録者の5割が年間を通してボランティア活動に参加する
- (2) ボランティア入門塾に参加者が主体的に参画し、参加者の8割が本事業に「満足」を感じる。

3 事業展開

(1) 研修プログラム

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
5月21日(土)				受付	開会式 ①	ボランティア活動の技術① 【演習】	昼食		安全管理 【講義・演習】	休憩	ボランティア活動の意義 【講義】	夕食	青少年教育 【講義】		ふりかえり	入浴・就寝
5月22日(日)	起床	ボランティア活動の技術② 退所朝食検			ボランティア活動の技術③ 【演習】	昼食	青少年教育施設と課題 【講義】	青少年教育施設 【講義】	ボランティア活動 【講義】	閉会式	解散					

6月18日(土)～6月19日(日)は、上記プログラム「安全管理」と「ボランティア活動の技術③」が入れ替わる。



【安全管理：応急手当】



【ボランティア活動の技術：薪割り】



【青少年教育：グループワーク】



【ボランティア活動の技術：アイスブレイク】

4 成果と課題

(1) 成果

- 過年度に受講した学生（法人ボランティア）が事業全体の進行役を担ったり、アイスブレイクを実際に行ったりと、事業運営に参画することで参加者に法人ボランティア登録後の姿や活動のイメージづけをすることができた。
- 大学生のみでなく、高校生や社会人など幅広い年代が参加したことで、グループワーク等においては様々な意見や考えを聞くことができ、参加者自身の新たな気づきを得ることができた。
- 参加者がより多くのボランティア活動を実践できるようするため、熊本県内の公立社会教育施設と連携し、各施設の職員からそれぞれの施設の事業紹介やボランティア募集等の時間を設けた。これにより、参加者のボランティア活動の機会が増えることとなった。

(2) 課題

- コロナウイルス感染症対策として、2回実施することで参加者が密集しないよう配慮を行ったが、結果的にキャンセル等もあり心配するほどの参加者数とはならなかった。コロナウイルスの感染状況も踏まえ、次年度は1回のみの実施することも検討したい。
- 阿蘇においては、公共交通機関の便数が少ないため開始時間を早めることが難しい状況にある。これにより所定のカリキュラムを行うには、1泊2日のスケジュールではタイトとなっているため、次年度においては実施期間を2泊3日にしたり、参加者送迎を行うなどの対応について課題である。